

笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす

たかす議会だより

ま い ま ま

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 長田さくら

2021年5月6日 発行

No. 182

令和3年3月定例会号

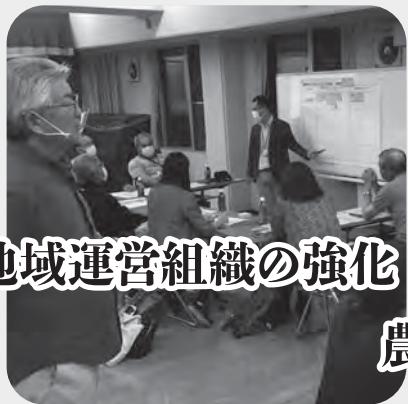


シーブズ輝く女性①
たよれる町の看護師さん！

町内の輝く女性を紹介していきます。今回は浅井医院で働く看護師の阿部さんです。詳しくは23ページ



の予算編成！



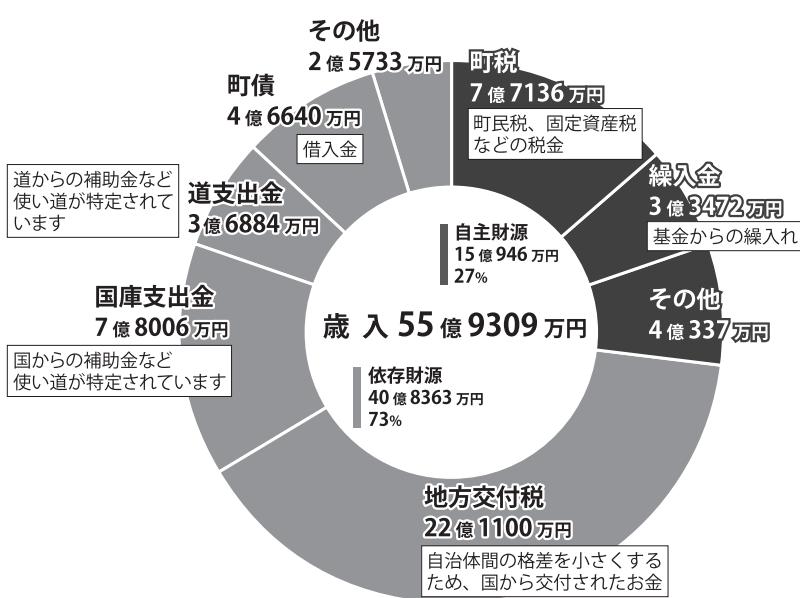
地域運営組織の強化



農業者の担い手育成支援

モデル地区の活動など

「野菜団地」の整備など



令和3年度各会計予算

万円未満を四捨五入しているため計算結果が合わない箇所があります

		令和3年度予算	令和2年度予算から の増減額(参考)
一般会計		55 億 9309 万円	△ 2 億 2491 万円
特別会計	国民健康保険	8 億 2319 万円	△ 1853 万円
	後期高齢者医療	1 億 1506 万円	610 万円
	介護保険	8 億 7741 万円	4242 万円
	公共下水道	2 億 42 万円	△ 7573 万円
	公平委員会	140 万円	20 万円
	特別会計合計	20 億 1748 万円	△ 4554 万円
水道事業 会計	収益的	1 億 6378 万円	△ 1858 万円
	資本的	9913 万円	△ 474 万円
合計		78 億 7347 万円	△ 2 億 9377 万円

たかす議会だより

No. 182



令和3年3月定例会号

発行：北海道鷹栖町議会

編集：広報広聴常任委員会

4 令和3年度予算 ここに注目！

執行方針・予算に対する質疑

10 新年度に向け準備進む

令和3年第1回定例会

12 6名の議員が一般質問

青野議員・大石議員・片山議員
沢口議員・川原議員・日下議員

19 新型コロナ対策 補正予算ほか

令和3年第1～3回臨時会

21 議員会総会ほか

議会のうごき

22 各委員会の振り返り

VOICE ほか

23 クイズに挑戦！

次回定例会ご案内ほか



NEW!

過去の議会報「孔雀草」
で関連のある記事を表し
ています。

【表記などの記載について】

議案は起立により賛否の意志を表明します。議会報では反対があつた場合は反対者名を記載、討論があつた場合はその内容を記載しています。

令和③年度予算

谷町長3期最初



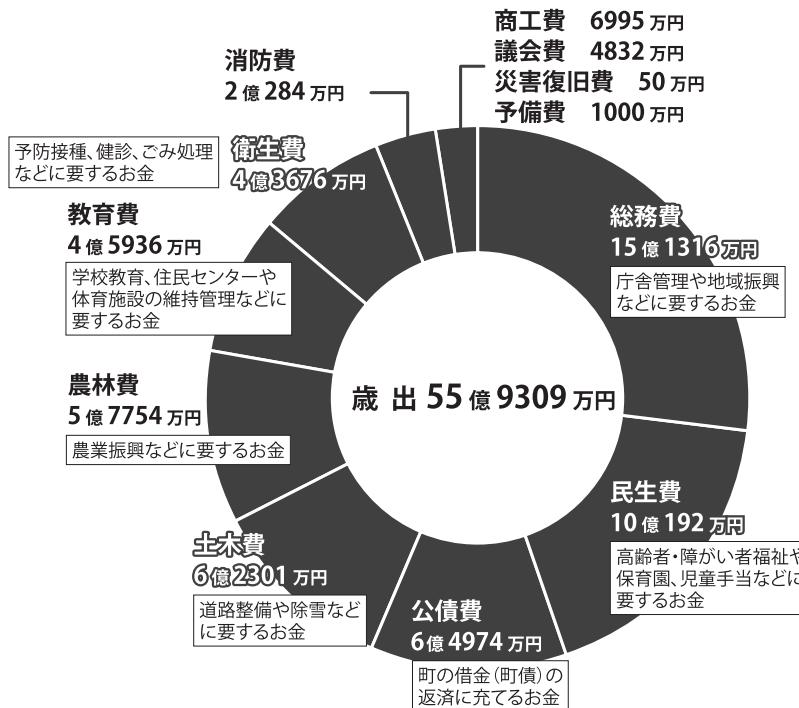
3つの重点施策

笑顔 幸せ
みんなでつくる あったかす

鷹栖市街地の活性化推進



「たかすマルシェ」の開催
基本構想策定など



令和3年度
一般会計予算

前年度から
約 2億円減

当初予算と補正予算とを
合わせた形で表記して
います。

新型コロナ交付金のタイミングにより
異例!
補正予算と併せて提案!

特別会計歳出 20億1748万円

一般会計歳出 55億9309万円

一般会計予算

令和2年度の防災無線整備のような大型事業がないため約2億円減額になっています。国からの新型コロナ対応地方創生交付金を使った事業については補正予算として提案されました。

特別会計予算

介護保険事業計画の8期目となります。

公共下水道事業会計は経営の健全化・透明化のため令和4年度から公営企業会計に移行。特別会計としては最終年度になります。水道料金・下水道使用料について令和4年度からの改定に向けて見直しの年となります。

予算審査

中央地区に「野菜団地」を整備！

産業



あつたかファームでは野菜の栽培を研修
令和3年度、研修生が修了後、営農するため中央地区に「野菜団地」
を整備します

町政の執行方針に対する質疑

いろいろある農業団体

全体の体制は？

青野議員 すでに農政幹事会、農業振興対策協議会など、さまざまな農業団体があります。新たに立ち上げる「地域農業の未来を考える会」と他の農業団体との連携体制の考えは。
町長 10年、15年先の基盤整備などを目的とした団体です。他団体と連携を深めながら進めていきます。

川原議員 「地域農業の未来を考える会」に非農業者の参画はありますか。
町長 基盤整備が目的のため、非農家の参画はあります。地域農業推進会議で非農家との協議を続けていきます。

町政の執行方針に対する質疑

第三者継承の調整

行政の介入は？

青野議員 町独自の第三者継承を進めるため、地権者と新規就農者のマッチングや条件の調整に行政が介入する考えは。
町長 事業継承のタイミングが合わないこともあるため、令和3年度に「野菜団地」を整備し、今後も拡充していく考えです。
研修生や地権者と面談を行ったり、先行して事業継承した方にアドバイスいただいています。オール鷹栖で頑張っていきます。

執行方針に対する質疑や予算審査特別委員会では多くの質疑を行いました。主なものを要約してご紹介します。また今回は補正予算について質疑だけでなく討論も多くありました。その内容については、9ページで紹介しています。

2日間にわたる白熱の質疑



「議員」と「委員」の表記があるのは、執行方針は議員として、予算は予算審査特別委員会で、委員として質問しているためです。

オンラインの商談会

補助金対象になる？

片山委員 現在増えてい
るオンラインでの商談会や
販売会への参加に対しても
補助する考えは。

A 販路拡大につながる
のであれば対象にしていき
たいと考えています。

販路拡大促進事
業補助金について
はこちら



夏場のエゾシカ駆除

充分な対応できる？

沢口委員 夏場のエゾシ
カの駆除が必要とされてい
ます。今回、新たにエゾシ
カの処理運搬用コンテナ2
個を導入しますが、充分な
対応ができるようになります。

必要に応じ、町内の受け
入れ施設の改修も検討する
必要があるので。

A 夏場のシカ駆除は有
効活用が難しく、湧別まで
運んで焼却します。運搬業
者も人手不足のため、どの
ようく運ぶかは、地域農業
推進会議とも協議して進め
ていきます。

不具合がある場合は施設
改修も検討しなければなら
ないと考えています。



山恵では衛生上の関係で夏場のシカの受け入れが困難とのこと



公民館モデル事業
説明会で登壇する
北斗地区公民館主
事の清水さん

公民館主事の報酬

見直しは？

川原委員 公民館主事は
地域の課題解決に向けた取
り組みを行うなど仕事も変
化しています。報酬を見直
す考えは。

A 現在のところは報酬
を増やすまでの形にはなつ
ていませんが、今後、さら
に活動が増えるのであれば
検討する課題になると考
えています。

増える空き家

解体も必要では？

片山委員 令和2年9月
の決算審査では、空き家の
解体についての相談もあつ
たという話もありました。

現在進めている空き家の
利活用だけで間に合うと考
えていますか。

状態のよくないものにつ
いては、危険家屋になる前
の解体も必要では。

A 町としては空き家の
流動化を目指して進めてい
ます。

危険家屋になる前に解体
する必要もありますが、市
街地と農村部では状況も違
います。農村部については
できるだけ残し、活用でき
るよう考えていくます。

まちづくり

教育

図書室の利用促進

工夫は？

178号
7頁



図書室は祝日の翌日とGWも開館に！
金曜日、鷹栖地区は19時までに！
(開室時刻は10時からに変更)

図書室がもっと利用しやすく！

教育行政の執行方針に対する質疑

ALT増員

多様性への考えは？

沢口議員

現在のALT

はオーストラリアから来て
います。多様性を学ぶため
に、増員するALTとして
他の国の方を招く考えは
どうな要望を出していますか。

教育長 現在のALTと
連動させるため、オースト
ラリアの方を要望していま
す。いろいろな国の方と交
流するのはよいことだと考
えますので、今後検討しま
す。



ななかまど大学 学びやすく！

高齢の方でも気軽に入学できるよう、
ななかまど大学が5年制から3年制に移
行。大学院は1年更新で、ずっと学び続
けることができるようになります。

入学者数の目標数値については今回は
変更直後であり、様子をみながら今後検
討していくとのことでした。

179号
9頁

教育行政の執行方針に対する質疑

ICT教育

どこまで進める？

片山議員

ICT教育を
進める上での健康への影響
などについて、専門家から
意見を聞くことになつてい
ました。

どのような意見が出で
ますか。

教育長 全国一斉に進め
ることになつたため、配慮
すべき点など国からガイド
ラインが示されました。
これを参考にしながら進
めます。

教育長 操作方法や情報
モラル、ルールなどを学ば
せ、保護者の理解も得た上
で、家庭学習での利用も検
討していきます。

Q

新年度中にオンライン授業を各学年1度は行つてみるなど、どの程度進め
るか具体的な目標がありま
すか。

A 片山委員 介護利用など
図書室に行けない方に利用
してもらつたために考えてい
ることは。

A 令和2年度の自粛期
間中に行つた郵送による図
書貸し出しを通年で行いま
す。

A 現在、小学校などで
行つてゐる団体貸し出し
(団体でカードを作りまと
めた冊数を貸し出す)を各
地区でも行える体制を整え
る計画です。

Q 図書室のない中央・
北斗・北成地区に対しての
対応は。

A 令和2年度の自粛期
間中に行つた郵送による図
書貸し出しを通年で行いま
す。

町政の執行方針に対する質疑

水道料金見直し

今後の考え方は？

町長 行財政改革をしつかりしていくかなければなりません。

公平性を担保した上で、費用がかかるということをしっかりと知つてもらい、料金の見直しを進めていきます。

大石議員 水道料金や施設の使用料・手数料の見直しなど、今後の考え方は。水道料金など生活に関係したものについては考慮が必要では。

生活



水道事業会計の改善！

令和2年9月定例会での決算審査で林川議員が「水道工事後の路面復旧と一般会計の道路改良工事を一緒に行えば」と指摘しました。今回の予算はそれが反映された形になっています。

コストが抑えられるだけでなく、土木費に振り替えることで有利な起債を利用することができるようになりました。

180号
7頁

町政の執行方針に対する質疑

町営バス 増便も検討？

片山議員

町営バスにつ

いて「より利用しやすい」ものになるよう検討するとあります。利便性向上のため、増便も含めて考えるということですか。

A 利用者の声をしっかりと聞きながら、時間などを調整します。節減できる部分は節減するなどして、見直していくなどとして、見直していくたいと考えます。

聞いてみました！



いつも玄関先で乗り降りでき、いつもの方がいつものように乗って来るかと、ワクワク楽しみに乗車しています。

樋上文子さん
(北央町内会)

町政の執行方針に対する質疑

防災無線

使ってもらう工夫は？

大石議員 防災無線に興味を持つてもらうための使い方として、どのようなことを考えていますか。

楽しく聞けるような工夫も必要では。

町長 令和3年4月から正式に情報提供サービスを開始します。地区ごとに放送することもできます。お知らせやイベント情報を伝えていきたいと考えています。

178号
8-9頁(上) 屋外スピーカー
(下) 防災ラジオ

毎日 18時 30分から放送！

健康福祉

教育行政の執行方針に対する質疑

PHR アプリ（電子生涯健康手帳）



アプリは将来も使い続けられる？

「将来的に成人後も更新して、健康維持に役立てることを視野にいれているのか？」との質問には、「そうなればよいものになる」との答弁でした。

なお、中学卒業後も自分で健康情報を入力することは可能とのこと。

学校健診

データ化の目的は？

青野議員

学校健康診断の情報をアプリで管理化して、本人や保護者が確認できるようにする事業がはじまります。

この目的は何ですか。

教育長

現在、中小学校での健康診断の情報は、高校卒業後5年間で廃棄されます。

将来、病気になつた際に、いつでも子供の頃の健康状態を参照できるようになります。

が、電子化の目的です。

社協との連携 相談体制は？

受診の工夫は？

青野委員 社会福祉協議会が窓口になる事業が多くあります。行政と社協の体制についての考え方。

人的支援も含め、しっかりと相談していますか。

町長

社協の体制も考えながら、事業の展開の計画を考えています。

オレンジテスト

受診の工夫は？



片山委員

軽度認知障害を調べることができるオレンジテストは、不安がある

方ほど受診をためらう傾向があるのでは。

受診してもらうための工夫は。

178号
16頁

A 令和2年度は住民セントーでの健診時に受診できるようにしました。

イベント時なども含め受診しやすい形を考えていきます。



私たちも受診しました！

斎藤議員、青野議員もオレンジテストに挑戦
「思ったより気軽。受診してよかったです！定期的に続けていきます。」(斎藤)



高齢者がスタッフとして働く「ちょっとだいじょうぶかな!!食堂」も社協が窓口の事業
令和3年度は新たに重層的支援体制整備事業などが企画されています

補正 新型コロナ対策

令和2年度における国の第3次補正に伴う新型コロナ対応地方創生交付金事業は繰り越して、令和3年度予算で執行するため、令和3年度補正予算（第1号）として審議しました。

片山委員　実態把握後、必要に応じて現金給付も含め、次の支援策を検討する考えがあります。

A 反対2名 方方法や内容も含め、状況に合わせて検討したいと考えています。

【生活応援事業】

低所得世帯に対し、町内で利用できる商品券を配布します。

青野委員

対象世帯の実

態把握の状況は。

A 生活応援であれば現金給付の方が適切では。

支給対象者に商品券を発送する際にアンケートを同封し、生活状況などを実態把握を行います。

町長 町内の事業所も、大きく減収していることも考慮し、商品券の配布という内容となりました。

ここに注目

低所得世帯への生活応援に商品券ありなし？ 討論活発！

■補正予算に対する討論



賛成 川原 允

事前の実態調査すべきだが
すみやかな応援策も必要

本来は事前に実態調査すべきですが、コロナ禍が長期化する中、すみやかな応援策も必要です。今回は低所得世帯応援策の第1弾として賛成します。



賛成 木下 忠行

限られた財源を有効活用
行政の知恵として当然のこと

現状の町内業者の経済活動に少しでも貢献するため商品券の利用をお願いすることは、限られた財源を有効活用する行政の知恵として当然のことと考えます。

第2弾以降については、今回の申請時に実施するアンケートを参考にすべきですが、第1弾はこの内容で早急に実施すべきと考えます。



賛成 沢口 仁

買えなかつた人が
使えることに意義がある

プレミアム付商品券を買えなかつた人が同様の商品券を使える機会が出来る事に意義があります。

町外での接触機会を減らしコロナ対策にもなるのではないか。

A 反対2名 青野・姥

補正予算での主な事業

生活応援事業	1856 万円
高齢者在宅活動支援事業	350 万円
福祉事業所 PCR 検査事業	44 万円
感染者家族孤立対応事業	265 万円
サンホールはぴねす通信環境強化事業	203 万円
事業継続応援給付事業	2510 万円



反対 青野 敏

生活応援が目的であれば
現金給付が一番の効果がある

今回のような事業は、しっかりと生活実態調査を行い提案すべき。商品券発行費用もかかり、対象の方々にとって一番効果がある内容とも思えません。

地域経済を支える事業はすでに取り組んでいますし、何より商品券では利用できる期間、使用できる店舗に制限があります。生活応援の目的を達成するには、使用制限がない現金が最善です。



反対 姥 順一

低所得者に軸足を
置いたものでなければならない

この事業は低所得者に軸足を置いたものでなければなりません。町内にはお店も少なく、商品券で買えるものも決まっています。

現金で対応すべきと考えますので、反対します。

令和3年第1回定例会

新年度に向け準備進む

パレットヒルズ宿泊有料化、旧北成小教員住宅改修など

アクティビティ充実！
パレットヒルズで遊ぼう

議案一覧は速報版に掲載しています



第1回定例会は3月8日（月）～12日（金）に開催しました。町内での新型コロナ感染拡大を受け、開会後すぐに延会。6名の一般質問は2日目に。3日目は、報告1件、議案14件を審議後、新年度予算についての説明がありました。4日目は、執行方針報告に対し町長・教育長に質疑。その後、予算特別委員会を設置、5日目にかけ、予算の審査を行いました。その後、追加議案1件、同意2件を審議、すべての議案を原案通り可決しました。

定例会のあらまし

新型コロナの影響で予定変更

町内での新型コロナの影響でチラシでお知らせしていた日程を変更しました。

パレットヒルズのアウトドア分野での活動利用が活発化してきている状況の中で、他市町村の施設とのバランスをとりながら使用料の徴収をします。キャンプ場での宿泊について1泊1人当たり300円を予定しています。



条例 選挙力一、ポスター、ビラ 選挙費用が公費負担に！

町議選では15万円の供託金も導入されます

パレットヒルズ設置及び管理に関する条例
パレットヒルズ宿泊有料化！
選挙公営化に伴い、町議選挙、町長選挙での選挙運動用自動車の使用、①選挙運動用自転車の作成、②選挙運動用ビラの作成、③選挙運動用ポスターの作成が、上限額の範囲内で実費負担分が公費負担となります。

条例 パレットヒルズ宿泊有料化！ パレットヒルズ設置及び管理に関する条例

定例会概要

正補 旧北成小教員住宅を改修 交流拠点に

令和2年度一般会計補正予算ほか

令和2年度の一般会計補正予算のほか、3回目の国保特別会計、介護保険特別会計、2回目の公共下水道事業特別会計を審議し、全会一致で原案通り可決しました。



旧北成小教員住宅
内装については地域おこし協力隊員がDIYでリノベーションする計画です

(万円未満四捨五入)			
一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	7318万円	72億8183万円	73億5501万円
議会費	△58万円	旅費等の減額	
総務費	1億3585万円	財政調整基金積立金の追加、旧北成教職員住宅設備工事費の追加ほか	
民生費	△1901万円	外国人介護福祉人材育成支援事業の減額ほか	
衛生費	△1243万円	一般廃棄物焼却処理委託料の減額ほか	
農林費	816万円	農業機械・施設整備事業の追加ほか	
商工費	△492万円	地域おこし協力隊観光振興活動事業の減額ほか	
土木費	△587万円	橋梁補修・改修工事の追加、そよかぜ団地EF棟建替工事の減額ほか	
消防費	△223万円	鷹栖町消防団事業の減額ほか	
教育費	△2189万円	メロディーホール自主文化事業の減額ほか	
公債費	△390万円	起債償還利子の減額ほか	
国民健康保険	807万円	8億5172万円	8億5979万円
介護保険	159万円	8億7578万円	8億7737万円
下水道	△726万円	2億7862万円	2億7136万円

■ 主な事業

- 【財政調整基金管理】 財政調整基金（町の貯金）に積み立て！
- 【道路橋梁長寿命化】 稔橋（21線16号）の修繕工事！
- 【農業機械・施設整備】 農業者への補助！
- 【感染症対策・学習補償等支援】 学校に空気清浄機導入！研修会も！

A 片山議員 今回は町から
の提案ですが、他の地区についてもニーズに合わせた支援をしていく考えはありますか。

A 青野議員 地域でしっかりと組織化できるよう、後押しも必要では。押しつけではなく、地域で意識が醸成できるよう体制づくりをしていきたくと考えています。

地域活動の新たな場を形成するため、旧北成小教員住宅（昭和42年建築）を改修。破損している屋根の工事、浄化槽設置などの設備工事を行います。（内装などはDIYでリノベーションする計画です）

650万円

【旧北成小教員住宅改修】

同意 小川一也さん監査委員に

任期満了に伴い、町の財務や事業について監査を行う監査委員を選任しました。

小川一也さん
(任期令和3年4月16日～令和7年4月15日)



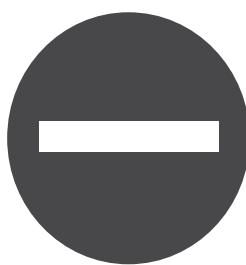
小川さんはこんな人！

昭和45年10月30日生まれ。
平成10年に就農、平成26年7月から農業委員会委員、勤勉実直、常に公平公正、地域からの信頼も厚い方です。

鷹栖町議会の定例会の案内チラシ、一般質問の通信簿などの取り組みについて朝日新聞、ケーブルテレビポテトの取材がありました。



また、定例会に合わせ、テレビ局からの取材も予定されていましたが、新型コロナの町内発生の影響により中止となりました。



6名の議員が町政を問う！

一般質問は、各議員が行政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質することで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。

質問議員	質問内容	頁
青野 敏 議員	事業評価の取り組みと成果は	13
大石 隆 議員	押印手続き見直し、電子署名の活用は	14
片山 兵衛 議員	ゴミの減量化、どのように	15
沢口 仁 議員	今後の消防団員の待遇とあり方は	16
川原 允 議員	子供の居場所、充実させるには	17
日下 義朗 議員	学校運営協議会、課題は	18



林川議員の一般質問を取り下げ

チラシでご案内していた林川議員の一般質問は、欠席したため取り下げとなりました。

今回は通信簿の結果はありません

新型コロナが町内でも発生したことで当初の日程を変更しました。一般質問についても1日目から2日目になったこともあります。傍聴者は数名でした。通信簿も集まらなかったことから、今回は通信簿の掲載を見送りました。

事業評価の取り組みと成果は

町長

関心を高めるため情報公開について研究する



住民が求める行政ニーズへの対応、効果的・効率的な開かれた行政運営と健全な財政運営を維持するためにも、行財政改革は最重要課題です。事業評価は、事業の目的、効果、コストを数値化・具体化して、客観的に評価すること、コスト削減や職員の意識改革などにつながる重要な取り組みです。評価システムの取り組み状況と成果は。

住民が求める行政ニーズへの対応、効果的・効率的な開かれた行政運営と健全な財政運営を維持するためにも、行財政改革は最重要課題です。事業評価は、事業の目的、効果、コストを数値化・具

性の協議を一体的に進め、予算編成やローリングに反映させています。今後も施策体系を意識した評価検証に取り組み、そのことで得られた内容を有効活用できるよう進めていきます。

答弁 事業の状況、成果による検証と、政策ヒアリングによる中長期的な方向性の協議を一体的に進め、予算編成やローリングに反映させています。実施計画・事務事業個票による検証と、政策ヒアリングによる中長期的な方向性の協議を一体的に進め、予算編成やローリングに反映させています。

質問 各種事業を妥当性・有効性・効率性の観点から評価して、今後の方向性や改善策に役立てることが事業評価の目的です。事業の目的や意図を明確にして、成果を捉えるような指標や目標を数値化する考えは。

**指標や目標を
数値化しては**

質問 事業評価は、担当課と連携した専門的視点からのチェック体制が必要です。事業評価の体制と実施時期は。

質問 事業評価は行政運営への積極的な町民参加を促進するためには、限られた行政経営資源のもとで、さらに具体的なまちづくり施策の内容を示す必要があります。今後は事業評価も含めて

答弁 すべての数値化は難しいですが、総合戦略や改善していく、PDCAサイクルを構築することが重要です。行財政についても費用対効果や公平性など数値化を研究していく考えです。

質問 事業評価は行政運営を客観的に見直すための総合計画の重点施策で数値目標を設定しています。行政運営への住民参加を実現するためのツールでもあります。



青野 敏 議員

押印手続き見直し、電子署名の活用は

町長

申請書類などでの押印廃止を検討



新型コロナへの対応もあり、国は書面主義、押印原則、対面主義について、官民の制度や慣行を見直しを行っています。1万5000種類の民間からの行政手続きのうち、99%の手続きで押印の廃止を明らかにし、認め印は全て廃止する考えです。地方公共団体に見直しの実施を求めています。

答弁 本町での進捗状況と取り組みは。

新型コロナ感染拡大を防止し、デジタル時代の実現に向け、書面主義、押印原則、対面主義からの決別は喫緊の課題です。特に、住民に身近で多くの手続きの窓口となる地方公共団体には、積極的な取り組みが期待されています。

質問 庁舎内での書類への押印廃止、電子署名の取り組みは。

国の動向や導入費用などを検討し進めます。

月からデジタル庁を設置、デジタル社会での行政事務の迅速化を図ります。本町も、その取り組み内容を確認しながら、必要に応じた検討をしていきます。

国では、携帯ショッピングの利用講座などを推進しておる、町民が参加できるよう場面で検討していきます。

質問 今後のデジタル化への取り組みは。

光回線が令和3年度に全町に敷かれます。オンラインの相談会、教育の部門など、さまざまなもので検討していきます。

講座を企画するなど、支援体制の確立を目指します。

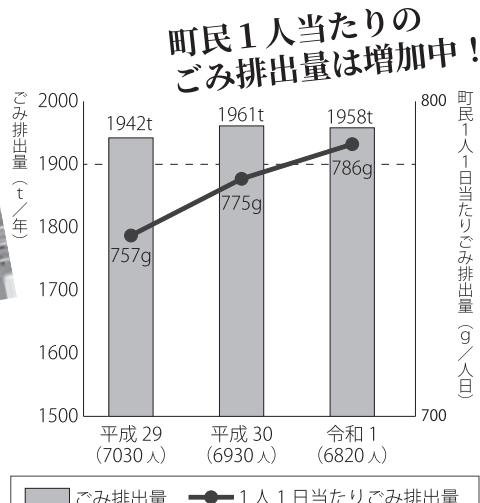
大石 隆 議員

ごみ減量化、どのように

町長 具体的な数値目標を掲げ、取り組む



意外と知られてないんですけど…



人口は減っていますが、ごみの排出量は減っていません。

鷹栖町のリサイクル率は全道平均を上回っていますが、これはさらに向上去させる方針です。一方、町民一人当たりのごみ排出量は増加傾向となっています。

このような状況の中、どのような姿勢で、ごみ減量に取り組む考えですか。

答弁 令和5年度末までに、ごみ排出量を1人1日700グラムに燃やせるごみの量を1人1日285グラムにと、具体的な減量

目標を掲げ、町全体でごみの減量化を取り組んでいくよう、広報やチラシなどで周知を図っています。

令和2年度は家庭用ごみの減量ガイドを配布し、10月から燃やせるごみの有料化を実施。令和3年度から15年間の一般廃棄物処理基盤計画を策定しています。

入れられるようになつたり、燃やせないごみ専用袋はガラス・陶磁器・刃物類しか入れられなくなるなど、名称も見直しの時期に来ているのでは。

質問 口ロナ禍、町民の経済的疲弊も限度に近づいています。

町民の負担増につながるごみの有料化・値上げなどは控えるべきでは。

答弁 令和3年度に、ごみの減量化の取り組みの一環として、粗大ごみの処理手数料の見直しの検討を進めています。

また、捨てる前にリサイクルショッピングなどの利用を促し、リサイクル・リユース活動が習慣化できるよう取り組みます。

町民一人ひとりが監視員のようになり、町全体で監視することが最善の防止策だと思います。



片山 兵衛 議員

子供の居場所、充実させるには

町長

総合型地域スポーツクラブでも取り組む



子育て世代包括支援センターには
専任の保健師・助産師が常駐しています

令和2年10月に新設した子育て世代包括支援センターはどのような業務を担っていますか。

答弁 妊娠、出産、子育てに関する各種の相談に保健師や助産師が対応し、切れ目のない支援を担っています。

開設により、妊娠期からの相談がしっかりとできるようになりました。0歳から18歳までを支援の対象としているのが鷹栖町の特徴です。

質問 現状では職員の異動により、支援の一貫性が失われる恐れがあります。センターに求められるのは教育と福祉の横断的事業です。横断的な活動や不足している社会資源の開発を実施する専門職員を配置する考えは。

答弁 健康福祉課子育て支援係でその機能を担っています。そのため、専任職員を新たに配置する考えはありません。

担当者が交代しても、センターの運営などは一貫性を持って進めていきます。

質問 先進地とされる千歳市でも18歳までを対象にしていますが、中高生との日常的なつながりを作ることが課題とされています。本町ではどのように取り組みますか。

答弁 本町には児童館はありませんが、学童保育所が5カ所ありますので、町の地域資源を活かした取り組みを進めていきます。

質問 子供の遊びの一つになる「遊び」と考えていました。

答弁 プレーパークを設置する予定はありませんが、総合型地域スポーツクラブで子供の日常的な遊びをカバーできればと考えています。

令和3年度は、センターにスクールソーシャルワーカーが配置され、個別支援が強化されます。(川原)



川原 允 議員



学校運営協議会、課題は

教育長

新型コロナで思つよつた活動ができていない



令和2年度の研修は感染防止に配慮しながら開催

答弁 委員には構造図や計画表を提示・説明し共通理解を図っています。地域住民の協力を得られるよう、各学校の特色などを活かしたものにするのを啓発していきます。

負担軽減の工夫と配慮は



日下 義朗 議員

学校評価の公表は

質問 以前は学校評価を学校評議員が行い、公表については校長が判断していました。

現在、学校評価は学校運営協議会が行い、本町ではその結果の全面開示は制限されています。教育委員会の主管ですが、この違いの理由は。

質問 平成23年度に文科省が行った調査では学校運営協議会の課題として、関心が低いこと、日程調整や文書作成など担当職員の労務負担が大きいことなどが挙げられています。負担軽減のため、次のような工夫や配慮が必要と考えます。

- ①関心を高めるため、広報機会を増加させ、担当者を配置する。
- ②コーディネーターを中心的に、企画、諸活動の日程調整等をする。
- ③熟議の場面設定。

答弁 広報機会については、学校・学級便りを活用しています。

答弁 コーディネーターが教職員と情報を共有しながら、地域との調整をしています。令和3年度からは定期的に学校に入つてもうう予定です。

令和2年度は新型コロナにより、思うような活動には至りませんでしたが、お互い意見を出し合い、共有することが大切だと考えています。

質問 校運営協議会規則では各委員への研修をうたっています。

感染症が進行していた中、各委員に対して、どのような会合案内をし、研修を進めましたか。

組織構造図と活動計画表

質問 運営協議会の組織構造図や活動計画表は、関係者にとつて有効ですか。

答弁 新型コロナ感染防止のため、基本的な研修しか実施できませんでした。今後、安心できる状況になれば、各委員が活発に意

す。導入する考えは。

質問 運営協議会の組織構造図や活動計画表についても、学校評議員制度と同様に校長の判断によります。

答弁 学校評価結果の公表については、学校評議員制度と同様に校長の判断によります。

①コーディネーターを中心的に、企画、諸活動の日程調整等をする。

令和2年度は新型コロナにより、思うような活動には至りませんでしたが、お互い意見を出し合い、共有することが大切だと考えて

第1回
4 施設**指定管理者を指定！**

令和2年度7回目の一般会計補正予算のほか、公の施設に係る指定管理者の指定について審議しました。

一般会計補正予算は全会一致で可決。指定管理者の指定については原案通り可決（反対1名）しました。

指 定
指定管理者の指定
選定委の評価も

令和3年3月で指定期間が終了する公の施設について、指定管理者の指定を行いました。今回は指定管理者選定委員会（関係課長など）での評価も示されました。

川原議員
川原議員 プラザ・クロス10について、町の提示した委託料の上限額で、新規事業やサービス向上などができると考えていますか。

A これまでの管理費などを勘案した額です。新しい事業をすることが難しい施設ですが、有料のイベントなど、上限額の範囲内でできることもあると考えます。

臨時会

(万円未満四捨五入)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	4297万円	72億6704万円	73億1001万円
総務費	268万円	システム整備委託料の追加	
民生費	263万円	高齢者在宅生活支援事業費の追加ほか	
衛生費	191万円	新型コロナワクチン接種体制確保事業費の追加	
土木費	3575万円	除排雪対策事業の追加	

民間事業者が指定管理者となることで、サービスの向上や経費縮減などの効果が期待できるとされています。

■ プラザ・クロス10の指定管理者指定に対する討論



反対 川原 允

提示された委託料では制度のメリット活かせない

自主事業の実施など、地域活性化の取り組みを提示された委託料で行うことは難しく、指定管理者制度のメリットを活かすことができないと考えますので反対します。

**反対 可決
1名
川原**



賛成 青野 敏

しっかりと議論必要だが町にとって必要な施設

指定管理者制度の有効性や利便性について、今後に向けた協議は必要です。

プラザ・クロス10は町内の施設として町民にとって必要な施設ですので、有効利用できるように指定管理での契約に賛成します。



指定管理者選定委員会では事業計画書、収支経営状況などを総合的に評価したとのこと。プラザ・クロス10の自主事業の実施について低評価となっていました。

審議では評価方法が妥当かとの質問もあり、今後検討していくと答弁がありました。

除排雪費に3326万円追加！

令和2年度8回目の一般会計補正予算と条例改正を行いました。



印鑑登録証明書は③窓口で申請！

条例 印鑑登録証明書を実印不用で発行に

印鑑登録証（カード）を導入し、証明書発行の手続きを簡素化します。

A 林川議員 導入しないことで支障は発生しますか。
可決 反対2名 姥・林川 発生しません。カード化へのニーズが、コロナ禍において特に高まっています。

国からの臨時交付金について、光回線整備がNTT東日本との契約により減額されるため、一般財源を充当していた事業の財源振り替え、新規事業の追加を行います。

A 林川議員 予備費を使わなかつた理由は。臨時会で提案できるタイミングのため補正予算で対応しました。予備費は緊急の場合のため、なるべく残しておく考えです。

補正交付金の上限額を有効に活用する

資料作成後も連日降雪があり、さらに修正が必要になりました。申し訳ありません。

A 大石議員 除雪費につき商品券の売り上げが上位の事業者の状況は。あるのでは。

A 林川議員 プレミアム付き商品券の売り上げが上位の事業者の状況は。

取り扱いが多い事業者上位5件の取扱額は順番におよそ2200万円、500万円、440万円、420万円、390万円となっています。

A 反対1名 林川 取り扱いが多い事業者上位5件の取扱額は順番におよそ2200万円、500万円、440万円、420万円、390万円となっています。

■ 印鑑登録証の導入に関する条例改正に対する討論



反対 林川伸二

補正での提案は不適当
また条文も簡明ではない

導入自体は容認できますが、補正予算是行政運営上に支障がある場合や、予算を確保しないと町民に不利益が起きるものに限られるべき。

また、条文が簡明でないと考えることから反対します。



賛成 大石隆

どこの行政でも実印不要
速やかに通すべき

どこの行政でも実印不要になっています。提案方法には問題がありますが、補正だからどうと言うことではなく、速やかに通すべきと考え、賛成したい。

■ 補正予算に対する討論



反対 林川伸二

コロナ対策と関係のない事業に使うべきではない

交付金が余ったからと言って、コロナ対策と直接関係のない事業に充当するべきではありません。特にプレミアム付き商品券は、利用が一部の事業所に偏っています。

実態調査をして、困っている方、人と人が密着しなければならない施設、感染された方や関係者への配慮などに使うべきと考えますので反対します。



賛成 大石隆

見直すために事業を遅らせるわけにはいかない

担当課でも考えながら行っています。見直すために、事業を遅らせるわけにはいかないので賛成します。

議会のうごき

補正ワクチン接種関連
会計補正予算を審議し、全会一致で可決しました。

令和2年度11回目の一般会計補正予算を審議し、全会一致で可決しました。
新型コロナワクチン接種した方のデータを管理改修委託料120万円を追加しました。

新型コロナのワクチンを保存するためのシステムの接種した方のデータを管理改修委託料120万円を追加しました。
議会活性化委員会では他の町の議会傍聴などを進める予定でしたが、新型コロナの影響で思うような活動ができませんでした。令和3年度は傍聴者へのサービス・通信簿を継続し、女性の議会参画や法制研修などを予定しています。

第3回
臨時会
3/31

新型コロナワクチン接種体制確保

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
	△ 2819万円	73億1002万円	72億8183万円
総務費	△ 6415万円	光回線敷設事業負担金の減額ほか	
民生費	△ 1177万円	新型コロナ対応生活支援金の減額ほか	
衛生費	△ 63万円	新型コロナ感染防止対策装備品整備事業の減額ほか	
農林費	△ 64万円	新型コロナ対応農畜産物消費拡大事業の減額	
商工費	1310万円	地域消費活性化事業補助金の追加ほか	
土木費	4126万円	除雪対策事業の追加ほか	
教育費	△ 536万円	新型コロナ対応小中学校備品整備事業の減額ほか	

■ 主な事業

- 【小さな拠点の底力養成】 地域づくり人材を育成！
- 【コンビニ収納等導入】 コンビニで納税できるように！
- 【地域消費活性化】 プレミアム付き商品券を発行！
- 【パレットヒルズ整備】 管理棟のトイレに暖房を！
- 【ICT教育環境整備】 貸出用タブレットと主事用PCを購入！

総会を開催

3/31

期間中の
議会の活動を
紹介します

議会の
うごき

2021年2月1日～4月30日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	3回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	10回



【欠席状況】

経済福祉常任委員会(2/26)	舟根
第2回臨時会(2/26)	舟根
議会運営委員会(2/26)	舟根
合同常任委員会(3/5)	舟根 齋藤 林川
第1回定期例会(3/8-3/12)	舟根 齋藤 林川
広報広聴常任委員会(3/31)	川原(早退)
議員協議会(3/31)	川原(早退)

議員協議会では、議員定数・報酬についての検討を行いました。各自の意見を集め、議論を重ねました。今後も検討を続けていきます。

本会議前には各常任委員会、議会運営委員会を開催しています。

活動の詳細は
webページでも
確認いただけます



議員協議会
議員定数・報酬の検討
2/12
3/31
4/13



**前井さん
おつかれさまでした！**

平成25年から代表監査委員を勤めていた前井誠一さんが任期満了に伴い、勇退されることになりました。町財政の効率的な運営と町政の発展に、多大な貢献をされました。

8年間、監査委員を務めさせていただき、この度任期満了により退任いたしました。

在任中は、法令および条例規則に従い、町の財務の執行等を厳正に監査し、職務を遂行したつもりではあります。何分行政の範囲は膨大であり、戸惑うことが多くありました。

多くの方々のご指導、ご協力をいただきながら何とか務めあげることができ、安堵しているところです。

皆様、本当にありがとうございました。

頑張ります！

令和2年度は郷土資料館のあり方について委員会として調査し、一般質問につなげました。今後は、各議員の一般質問の中から委員会でさらに調査が必要なものを選び、政策提言につなげられるよう活動もしていきたいと考えています。

令和2年度は勉強会の内容を充実させました。新型コロナ対策がどうなるか予測できなかつたこともあり、委員会としてのテーマを設定することはできませんでした。令和3年度当初の段階で何について調査していくかを決めて、目標を持った活動をしていきます。

「興味を持つてもらう」「理解を深めてもらう」「参加してもらう」という目的で活動をしています。「理解を深めてもらう」「参考」と共に町内外で話題にしていただきました。令和2年度は新たに傍聴ガイドブックを作成。チラシと共にオンラインでの取り組みも含め検討していきます。



委員長
斎藤 哲子



委員長
舟根 輝好



委員長
片山 兵衛

各常任委員会1年間の活動と今後の方針

VOICE

議会報モニターをはじめとする皆さまの声をご紹介します。

今回のチラシも議会のことを知ってもらいたいという熱意を感じました。

定例会のお知らせチラシは費用をかけてカラーにしなくともよかったです。

予算審査の特別な感じ、新年度に向けた期待感を表現しようとあのようなチラシになりました。費用は1枚当たり3円程度（印刷費・紙代込み）に抑えています。

一般質問のページは中見出しをつけるなどレイアウトの工夫が必要では。

もっとわかりやすくできないか検討します。

文字が小さくびっしりなので読みづらい。もう少し簡潔に。

デザインについても学びながら改善していきます。

一般質問を傍聴者に評価してもらう取り組み、続けてみては。

今回も傍聴者が少なく評価結果の掲載はできませんでしたが、議員のやる気アップにもつながっていますので、継続したいと考えています。
ぜひ傍聴にも来てください！

今回もさまざまご意見をお寄せいただき、ありがとうございます！

今後も多くのご意見をお待ちしています。



7世代先の子どもたちに伝える鷹栖町

私は数年前に山が近い田園風景に憧れて鷹栖町に越してきました。実家は関東ですから1ターンですね。

確かに鷹栖町は便利ではありません。高速以外の国道もJRも通ってません。買い物も明らかに不便の範疇でしょう。

でも逆に言えば田んぼが、山が、四季折々の風景があります。森のようちえんもあれば、学童保育も充実しています。郊外で夜空を見上げればすぐに天の川にも出会えます。

改めて考えると、実はとても豊かな町なんですね。

北米の先住民族の考えだったか、7世代先のことを考えて行動しなさいという教えがあるそうです。きっと2~300年先でしょうか。そんな未来の子どもたちに私たちが胸を張って伝えられることとは何でしょう？

正直、私一人では想像もできません。でもみなさんと一緒に何か見つかるかもしれません。今の私に、私たちにできることを共に考えられる、そんな鷹栖町を創っていくことを心から願っています。



はじめ
平山 創さん (北央町内会)

合気柔術にハマりすぎて
東洋医学の道へ



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを
自由に書いてもらうコーナーです。



湯本 賢太郎さん (3区町内会)



冬の楽しみ バナナボート！

固定資産評価
審査委員も務める

鷹栖で子育てをしながら思うこと

私は鷹栖に生まれ一時は鷹栖を離れましたが、父が15年前に亡くなったのを機に鷹栖に戻り農業を始めました。現在は妻と5人の子どもと暮らしています。

鷹栖での子育ては、我が家からは学校も友達の家も遠い大変さはありますが、仕事も子育ても毎日が闘いのような忙しさの中、地域の方に仕事や子育ての事を色々と気にかけ支えられ感謝の毎日です。

豊かな自然の四季を楽しみながら、春はトラクターで田植機、秋はコンバインに子ども達を乗せる農業体験は子ども達には好評で、冬は家のまわりの田んぼで、コースを作ってクロスカントリースキーやバナナボートを楽しんでいます。

田舎な事やコロナ禍で不便な事、思い通りには行かない事はありますが、子ども達には「鷹栖に生まれた」「うちに生まれた」事が特別な思い出になるように工夫して楽しんでいきたいと思っています。



寄稿していただける方はぜひご連絡ください！

